

○1学期終了

コロナ禍で始まった令和2年度の1学期が終わろうとしています。ほとんどの行事が中止になったり延期されたりして、我慢の連続の1学期でした。いかに普通の生活を送れることがありがたいことかを痛感させられました。生徒の皆さんも大変残念に思ったことでしょう。また、マスク着用の生活に不便さを感じている人も多いと思います。社会全体がそうであるので仕方ない面はあるのですが、皆さんはこの状況においても愚痴を漏らすでもなく、しっかりと授業等に取り組んでいました。本当によく頑張ったと思います。思い通りにならない状態の中でもやるべきことを頑張っていくしかない、という気持ちが感じられることが度々ありました。大変な中であっても、皆さんの心は確実に成長していると思います。

さて、明日から夏休みに入ります。規則正しい生活を心がけ、充実した有意義な40日にしてください。また、コロナ対策には休み中も十分気をつけて生活をしていきましょう。



生徒会花植え



生徒会あいさつ運動



部活動風景

○PTA新聞①

このたび発行されたPTA新聞の中に、生徒全員が自分自身を振り返って、「中学生になって成長したところ」を書いたものが載っています。一人一人の顔を思い浮かべながら読ませてもらいましたが、なかなか良いところに目をつけているな、と感心し自然と笑顔になりました。生徒の皆さんもお互いに同級生や先輩・後輩の良さに改めて気づくことができたのではないのでしょうか。

1学期の始業式で私は、自己肯定感や自尊感情を高めて欲しいという思いから「自信を持とう」、「自分を好きになろう」という話をしました。この振り返りもそこに結びついていくと思います。

○PTA新聞②

同じくPTA新聞の記事に、初代校長である竹内瀧雄先生のインタビューがあります。その中に「大原中学校は素晴らしい学校です」、「大原中学校を良い学校にしてください」という言葉が繰り返されていました。竹内先生をはじめ当時の大原中学校開校に携わられた方々の思いに触れ、身が引き締まる思いがしました。この思いを今大原中学校にいる生徒の皆さん、保護者の方々、先生方で大切にし、引き継いでいかねばならないと思っています。

先日、本校の卒業生で現在PTA役員をされているあるお父さんが、卒業記念で学校の坂道に桜を植えたという話を教えてくださいました。(竹内先生の話の中にも出ています。) 伝統はこのような思いの結晶として、世代を超えてバトンのように引き継がれていくものなのだ、と思います。

(文責 浅野)